

知識学類誌

# Milk

No.2

## 特集

ブックカバーがゆく

ブックカバー探求の旅！

知識情報・図書館学類誌

M I L K No.2

## Contents

- 004 特集:ブックカバー探訪の旅
- 009 クロスワード:問題編
- 010 そうだ ゼミ、行こう
- 013 Hop!Step!Trip!
- 018 open note
- 021 知識生情報
- 022 クロスワード:解答編

OPEN!!



## S.Iさん 3年

Q.1 いつ頃からブックカバーをつけるようになりましたか？

A.1 高校の時からつけるようになりました。

Q.2 写真のブックカバーについて教えてください！

A.2 鯨が好きなので、鯨の絵にしました。

高校の図書館でブックカバーの作り方の本があったので、それを借りて、見ながら作りました。半日くらいで作れました。

Q.3 現在のブックカバーに対する要望は？

A.3 要望・・・自分で作っちゃいます(笑)

## Y.Aさん 3年

Q.1 いつ頃からブックカバーをつけるようになりましたか？

A.1 父の影響で小、中学校からつけていました。

ブックカバーは私にとってとても身近な存在でした。

Q.2 写真のブックカバーについてどうぞ！

A.2 ①高校の友達から貰いました。

布製はあまり買った経験がないので、大事にしています。

②Q.1で友達へのプレゼント用に買った時、自分用にも一つ買いました。600円でした。

Q.3 現在のブックカバーに対する要望は？

A.3 どんな大きさにも対応するブックカバーですね。

あと防水カバーが欲しいです。



INSIDE!!

## A.Iさん 3年

Q.1 いつ頃からブックカバーをつけるようになりましたか？

A.1 高校1年生の時から、公共の場ではつけるようになりました。

Q.2 写真のブックカバーについてどうぞ！

A.2 ①新潮文庫でお母さんからもらいました。

しおりはおばあちゃんからです。

②中学の時、沖縄から引っ越す時に先生から餞別としてもらいました。

みーさー織という手法で作られたブックカバーだそうです。

Q.3 現在のブックカバーに対する要望は？

A.3 しおりがついているブックカバーです。

おしゃれなブックカバーが欲しいですね。



ブックカバーが行く

## ブックカバー探訪の旅

よりよいブックカバーを求める探訪者・ブックカバーが松美池から春日にやってきた！いい本の匂いに誘われてきたようだ。せっかくだからさっそくこの世界のブックカバー事情を調べることに・・・

### アンケート調査結果 (2011年2月28日に集計したもの)

調査対象：知識情報・図書館学類のみなさん (一年生 91人・二年生 4人 / 計 95人 ※2011年当時)

ブックカバーを使っていますか？

はい・・・59人

いいえ・・・37人

どうして使ってる？

本の保護・・・26人

内容を隠す・・・17人

気に入ってるから・・・5人

どうして使っていない？

必要性を感じない・・・24人

本の装丁を大事にしたい・・・4人

気に入ったものがない・・・2人

やはり読書好きの多い知識なので、ブックカバーを使用している人は半分以上いました。また使っていない人の中にも本のもともとの装丁を大事にしたいという本好きならではの意見も見られました。

次のページからは色々なブックカバーを紹介したり、ブックカバー愛好者のインタビューなどという内容になっています。普段ブックカバーを使う人も使わない人も、ブックカバーと一緒にブックカバー探訪に出てみませんか？

本好きな学生の比率が高めのこの学類では  
書店でつけてもらったブックカバーだけでなく、  
自分の好きなキャラクターやデザインのブック  
カバーを使用している人も……



このブックカバーは、ファスナー付き!  
外側と内側で柄が異なり、レースが  
あしらわれたかわいいブックカバー

外側だけでなく  
内側にもこだわりが…!



一豆知識一

「ブックカバーを無料で手軽に入手したい!」と思ったことはありませんか?  
Web 上には無料のブックカバーの素材を配布しているサイトがあります  
いつでも簡単にブックカバーを入手することができるのです  
やり方は簡単。パソコンで好きなデザインを選び、印刷するだけ!  
自分の気に入ったブックカバーが見つけれるといいですね

実際に使っている

# ブックカバーはコレ

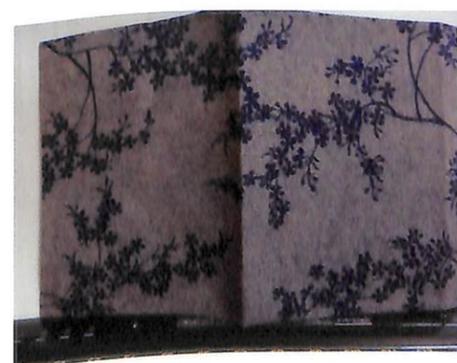


最も持っている人の多い、身近な書店や地  
元書店のブックカバー。集めている人もい  
るとか。

こちらは女の子とオレンジの  
さわやかなイラストが印象的なブックカバー  
ああ、オレンジソーダが飲みたい……



その他にも和柄、キャラのデザイン、しおり  
付き等々。多種多様なブックカバーが見られ  
ました。



# C R O S S W O R D

## 問題編

タテのキー

- 知識生は○○○○○学群生
- 米大統領ウィルソンが関わるのは 国際○○○○
- 「老兵は死なず、ただ去るのみ」 by○○○○○○
- カンボジアにある寺院跡。世界遺産
- プロセス、すなわち○○○
- 四重奏のこと
- JRの前身の略称○○○○
- ハンド○○○○で手を洗う
- 生まれて最初に見たものを親だと思ふ ○○○○
- 牛→○→うさぎ
- マルメロは西洋○○○○のこと
- 着ると姿が見えなくなる隠れ○○。天狗の持ち物
- カレーのおとも、福神漬じゃなかったら○○○○○
- 韓国との日本の領土問題で揺れる島 韓国では独島と呼ばれる
- 量的⇄○的
- 手がないのは○○のヴィーナス
- うさぎが住んでいる球体
- (手書きのつたないイルカの絵)

ヨコのキー

- 寒いからおしくらまんじゅうしたい…でも針ささるからいたい…でも…ハリネズミの○○○○
- 大学会館の西側 春日○○丁目
- 2～3月筑波山開催 つくば○○まつり
- 回鍋肉←読むべし
- 髪形で二つ結び、○○○○○○
- デニースのロゴの色
- は死んだ byニーチェ
- 春日にあるのは○○のいる池
- 「艸」の意味は
- 肉や魚などをバターでいためた料理
- 就活のとき面接で着る
- 返信を略して○○
- サン・ピエトロ大聖堂のドームを設計した芸術家・画家・建築家
- 出番が最後の人のこと
- 辛羊 ○○○ひつじ
- 飽きっぽくていつもい○○○ぼうず
- 3拍子でくるくる踊る
- は友を呼ぶ
- 夢か○○○か
- 銜う←○○う 見せびらかすこと
- 関の声 ○○の声
- τ これはギリシア文字
- 荒れた海の状態
- 鍵がかかっている…これは○○○○殺人だ
- だんろにくべるのは○○

1	2		5		8	9		10	
3			7						
4					11			24	25
6		12					23		
		13			22	32		26	
	14				21				
15				20				27	
16			19				28		
		18			29				30
17									31

## 理想のブックカバー

「どんなブックカバーなら使いたいかな？」の項目に寄せられた意見をまとめてみました。



マルチサイズ対応のブックカバー

どんな本でも一つのブックカバーで対応できたら…というのはブックカバーを使用する人は誰でも思うところでしょう。やはりこの意見が大半でした。いくつも用意するのが面倒だから全部一つで済ませたいという人や、また大きさに関わらず自分の大事な本を保護したいという人もいるのではないのでしょうか。

様々な形態の本がある中で、それぞれの大きさに対応したブックカバーも見つけるのも困難ですよ。今のところはそれぞれに対応した大きさのものを自作する方法しかないのかもしれない。

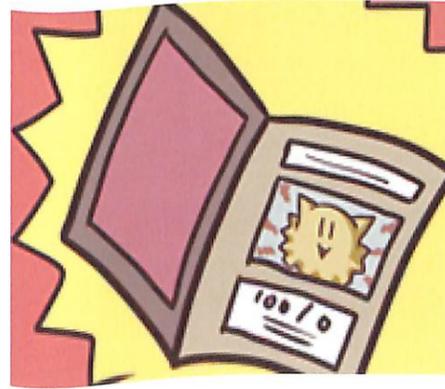
自分好みにカスタマイズしたい

ブックカバーは本を保護するためだけでなくデザインが気に入っているからなど洋服のような感覚で使っている人も多くいます。そんな中既存のデザインでは満足できない、自分オリジナルのブック

カバーがほしいという意見も多かったです。しかしデザインの凝ったものを自分で作る、というのはなかなか難しいもの。昔よくあった自分の好きなイラストを挟み込んで作る下敷きのようなブックカバーがあってもいいですよ。

トレカみたいに集めて楽しいブックカバー

少数意見でしたが気になったのでとりあげてみました。ブックカバーは様々なデザインがあるのでコレクターも多いようです。個人的にトレカみたいに、という部分が気になったので、トレーディングカード風のブックカバーを考えてみました。



このような遊びにも使えるブックカバーがあれば、あなたのブックカバーライフも変わるかも？

ブックカバーを求める旅はまだまだ続く！



# そうだ ゼミ、 行こう。

「研究室ってどんな感じなんだろう。」  
誰もが一度は持つ疑問。研究室に配属されるまでは、なかなか研究室を覗く  
勇気がでないものですね。そこで、  
今回私たちは、松林麻実子先生のゼミ  
にお邪魔してきました。

松林麻実子 先生

@情報メディアユニオン4階  
学系共同研究スタジオ2

先行研究について発表ののち、議論  
を深めていくと、研究のアプローチ  
として、グループインタビューが挙  
げられました。

「じゃあ、グループインタビューを  
やってみようか！」  
松林先生のその一言に、ゼミ生五人  
は戸惑うような、楽しむような声を  
あげて、早速挑戦していきます。

ゼミ生が勇んで挑戦するも・・・  
先生から見れば改善点があったよう  
で、時々先生から「こうした方がい  
いよ」と指摘されていました。  
そんな先生も、インタビューを始め  
た頃は失敗の連続だったらしく、先  
生の失敗談も交えつつ、指導をされ  
ていました。

現在松林先生のゼミは、週に一回、  
十五時半から十七時まで、講義棟  
の耐震工事の影響もあり、メディア  
ユニオンの4階の松林研の共同研究  
室で行われていました。

ゼミの部屋に到着すると、すでに  
ゼミ生の方は座って待っていました。  
この日集まったゼミ生は五人。  
簡単に私たちの自己紹介を済ませ、  
いざ、ゼミがスタート。

各自が文献を読み、内容をまとめて  
発表するという形式で進められ、発  
表を終えた後の議論が活発でした。  
松林先生からの鋭い質問に、学生は  
どうやって考えたのか、どのように  
考えてまとめたのかなどを発表しま  
す。その発表にまた先生は質問して、  
学生が答えて・・・。

最初から出来る人なんていない。失  
敗してどんどん上手になっていくも  
の。ゼミ生でどんどん練習だ！

グループインタビューは、ただ場を  
盛り上げて話を聞いていくだけでな  
く、回答者が答えやすいような質問  
を意識するなどの質問者の心構えに  
ついて指導されていました。



グループインタビュー実践の様子

一人につき、およそ十五分かけて議  
論が行われていました。

談話分析と会話分析の違いや、人間  
関係をより深く分析することについ  
て松林先生から指摘があり、隣で聞  
いている編集員も勉強になりました。  
議論の途中には、時々笑い声がでる  
事もあり、学生と先生の距離が近い  
印象を受けました。



松林研の集合写真

一時間半のゼミが終わり、ゼミ生の  
方に、「どうして松林先生のゼミを選  
んだのか」を聞きました。

「松林先生の授業がおもしろかったか  
ら」「入学前から興味のある研究を実  
現できるゼミだから」「将来進みたい  
仕事に関係する研究に適したゼミだ  
から」・・・

ゼミ選びは、自分がどんな事をした  
いのか、自分が将来何をしたいのか  
ということにもつながります。

今受けている授業で、「おもしろい」  
と思っている講義は、卒業研究で何  
を研究するかにつながっているかも  
しれませんね。

## 春日脱出、されど……？

前回、春日脱出を看板に掲げて動き出したこのコーナーであったが、二回目にして由々しき問題が発生した。それは、予算問題だ。取材費は勿論自費であり、懐が寒くなりがちな学生の身分には多少辛いものがある。しかし、それは筆者に限ったことではない。殆どの学生は、時間と旅費の消費を理由に春日から外へ出られないのかもしれない。時間はどうしようもないとして、旅費は何とかならないのだろうか。

ふと筆者の脳裏をよぎったのは、キャンパスメンバース制度だ。詳しいことは大学のホームページ等で確認して欲しいが、簡単に言えば、キャンパスメンバース(科学博物館は、パートナーシップ)に加入している大学の学生は、提携している博物館・美術館・科学博物館等の常設展に無料で入ることができ、特別展は割引価格で入ることができるといってお得な制度である。

そこで、今回のテーマはキャンパスメンバース制度を活用しながら、交通費と食費以外に旅費を使わない旅にすることにした。上野公園周辺に、キャンパスメンバース制度で常設展がただになる施設は幾つかあるが、今回は東京国立博物館と国立科学博物館の二館を紹介する。加えて、元々の入場料がただの国立国会図書館の分館である、国際子ども図書館にも足を伸ばすとしてしよう。

本来であれば、どの施設も丸一日を過ごせるほどに見どころのある施設である。東博のみで一日を過ごす予定の方は、企画展示や法隆寺宝物館も是非見に行ってみよう。

展示品を見ることに疲れた時は、一度建物から出て、敷地内をぐるりと一周してみるのも一つの鑑賞法だ。東博敷地内には複数の時代の建築が並んでいる。移築したものでは鎌倉時代の校倉と江戸時代の黒門。校倉は表慶館の裏手にあるらしい。黒門は正面に向かって左、法隆寺宝物館に向かう途中の左側にある。東博の敷地内に入る際によく目に入る。また、東博本体の建物の開館年は、洋風の表慶館が明治四十二年、和風の外観の本館は昭和十三年、東洋館が昭和四十二年、平成館と法隆寺宝物館が平成十一年である。

## いざ、東博本館へ

前置きはここまでにして、中に入ることにしよう。入口右側のチケット販売所で学生証を見せると、キャンパスメンバース専用のチケットを貰える。

筆者が行った時のキャンパスメンバース用チケットは、明治五年に湯島聖堂で行われた日本初の博覧会の図であった。この博覧会では、名古屋城の金の鯨を下ろして展示していたという。さて、気を取り直して内部の展示品を見よう。本館は正面入り口から入り、上の階から下ついで形で順路を巡る。東博の入口正面の階

# Trip!



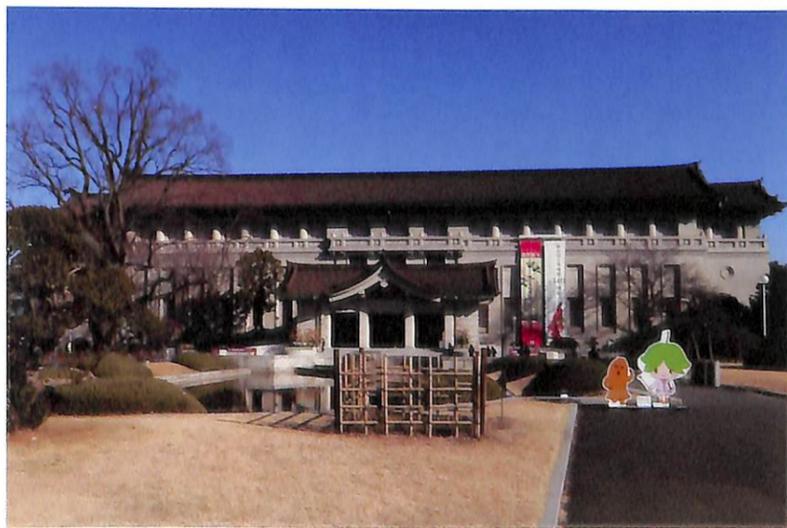
# Step!



# Hop!

vol.2 経費削減? 東京旅行三本立て

## 東京国立博物館の巻



東京国立博物館本館

まず筆者が向かったのは、東京国立博物館(以下東博)である。国立の博物館とだけあって、さすがに広い。敷地内には展示用の建物だけで五館あり、開放される時期は限定されるものの、庭園や茶室もある。今回は一日で三施設全てを回り切るという強行日程のため、東博は本館と平成館の常設展示のみを紹介する。

能だ。自分が訪れた日に何が展示されていたのか思い出したい人は是非活用していただきたい。

また、筆者は毎回展示品鑑賞の合間に、展示室の真ん中辺りに位置するラウンジで休憩している。ラウンジは休憩ができるだけでなく、窓から普段は一般公開していない庭園や茶室が見える場所でもあるためだ。ラウンジの隅には何故か黒電話が置かれている。一階も二階も同じである。よく見ると内線用らしいが、現在は使われていないのかさえない。

展示室に戻り、一階に降りると、ジャンル別の展示が見られる。伝統工芸、歴史に興味のある人にはおすすりである。筆者は、平成館への通路の直前にある「文化財を守る」のコーナーが一つだけ毛色が違っていて好きだ。資料の電子化についての展示もある。資料の電子化についての展示もあって、興味のある人は少し時間をかけて見てみるというかもしれない。一階最後の展示室を抜けると、寄贈者顕彰室がある。現在では、教育普及スペース「みどりのライオン」として機能している。要するに体験学習スペースである。筆者が行った時は銅鏡型か着物型のポストカードにスタンプを押して、デザインをする企画だった。筆者も作ってみたが、良い柄が多すぎて雑然としてしまった写真上参照。筆者のセンスの無さも否定できない。この企画の学習としてのテーマは、日本古来の柄やモチーフを用いたスタンプを使うことによつて、日本古来の柄やモチーフを学んでもらおうということらしい。

段と吹き抜けは、画として非常に素晴らしいものがあるのだが、それは行つて確かめてみて欲しい。階段から二階に上ると、「日本美術の流れ」の展示が始まる。

ここから、筆者の見てきた展示品についての紹介をしても良いのだが、約十一万点ある作品の中から三千点が選ばれて展示されているため、どんな展示が見られるかという肝心の案内をすることはほぼ不可能に近い。実際に訪れる際は、東京国立博物館の公式ホームページで調べてから行くと効率が良い。ちなみに、ここでは何月何日に何が展示されていたのかも調べることが可



筆者の作った絵葉書。センスが行方不明である

本館一階を一通り巡った後、先述の「文化財を守る」のコーナー横の連絡通路から平成館の常設館へと向かう。連絡通路は何故か細くて一回折れているため、見通しがよくない。何故そうなっているのかはやはりよく分かっていない。通路から平成館一階のロビーを抜けて常設展示は考古展示室だ。展示物は約三万年前から江戸時代までの考古遺物である。一步展示室の中に入った印象は、土偶、埴輪祭りといったところか。勿論、石器や土器、平安時代の壺等も一緒に置いてあった筈なのだが、気がつくとも筆者の頭の中は土偶と埴輪で一杯になっていた。

考古展示室を抜け、ロビーの向こう側を見ると人だかりができています。様子を窺いながら近づいてみると、特別展示の列だ。特別展示もキャンパスメンバーズで割引価格で入ることはできるが、あまりにも人が多かったため、断念することにしてきた。筆者の先輩にあたる方は、前売り券を買って忘れて雪の中、当日券を買った列に並んだらしい。混雑しそうな展示室は前売り券を買ったことに越したことはない。

また、筆者が行った時には東洋館は改装中であれなかったが、平成二十五年の正月には改装が終了する。東洋館にはエジプト政府から贈られたミイラが展示されているので、興味のある人は来年以降に訪れてみると良いだろう。



3階廊下にある窓

子ども図書館所蔵資料で見る歩み」が展示されていた。今回の展示にはパンフレットという名の小冊子があり、なかなか読みごたえのあるところは流石国立国会図書館といったところか。パンフレットの裏側には何故かUSZがある。また、展示には関係無いが、展示室の左奥に妙な凝ったデザインの間がある。これは書庫へと繋がる扉であり、帝国図書館時代、書庫がどれほど重要な位置を占めていたかを物語る意匠の一つだ。

三階は展示室の反対側に、講演会等イベントホールとメディアふれあいコーナーがある。メディアふれあいコーナーは、DVDや児童書・児童雑誌のデータベースを見ることのできるコーナーだ。このデータベースは一部以外全て館内限定公開だ。奥のホール側には小さな展示スペースがあり、展示室とはまた違った展示を見ることが出来る。また、各階の階段側の扉は、「おすとあく」「しめきり」等の文言が書かれています。なかなか面白い(写真参照)。扉に「おすとあく」と書かなければならないと

博物館を急ぎ足ながら巡り終えると、丁度お腹が減る頃である。そのまま博物館併設の食べ物屋へ行くのも手だが、値段が多量高つく所が多い印象だ。数年前のとあるガイドブックの立ち読みによる事前調査によれば、国立国会図書館国際子ども図書館のカフェテリアには、三百円台のカレーライスがあるという。本当たしたら、学食並の値段である。これは確かめなければならぬと筆者はカフェテリアに駆け込んだ。そして、券売機にあるカレーの値段を見ると……：びっくり四百円だった。やはり、値上がりしていたようである。看板に出ていたおすすすめメニューは、主食にサラダとスープが付いて七百円のセット。こちらの方がお得感が上だ。また、屋外のテラス席は弁当等持ち込み可であるから、朝弁当を作った持ち込む、という手も考えられる。筆者はカツカレーと今日のケーキ(チョコクリームと梨のタルト)を食べた。

### 国立国会図書館

### 国際子ども図書館編

さて、お腹も膨れたところで、展示室のある三階から探索再開である。階段を上って三階の広い廊下に出ると、何故か室内と部屋の間に窓がある。これは、廊下の煉瓦壁が外壁だった頃の名残だ。かつての帝国図書館、国立国会図書館上野分館を国際子ども図書館にする際に、入口とは反対側に

いつことは、帝国図書館が建てられた一九〇六年当時、引き戸が主流で、まだまだ開き戸が珍しかったのだらう。

一つ下に降りて、二階には十八歳未満が入れない閲覧室が二つある。この資料室は児童書の研究用である。利用証が無くて「資料室利用カード」に必要事項を書けば利用することができるので、児童文学、児童文化を研究する際にも活用すると良いだろう。貸出しはしていないが、即日複写のみ受け付けている。参考までに付け足しておく、第二閲覧室にはパソコンを持ち込んで作業するための電源も備えられている。



左：「おすとあく」の表示  
右：「しめきり」の表示

一階は子ども対象の閲覧室(大人も入ることが出来る)が三つ連なっている。まずは、子どもへのやだ。国内外問わず、絵本、読み物、知識の本、雑誌が丸くくると巡らされた本棚に排架されており、子ども用検索端末も設置されている。部屋としては、天井がかなり低い。世界をしるへやは、子どもが各国の地理や歴史、民俗を知るための資料と国際理解を深めるための図書が集められている。元々は貴賓室であり、一般の人間



国立国会図書館国際子ども図書館正面

現在の廊下部分が付け足されている。このため、室内であるのに、廊下に向かって窓が存在するのである(左写真参照)。このように、建物の各所に帝国図書館時代の名残が各所に残されているのだ。勿論、展示室や閲覧室にもその名残がある。写真撮影はできないので、是非自分で確かめて欲しい。今回の記事で使用されている写真の場所は、撮影可能な限られた場所である。

三階展示室内は、入口を中心として左右に一つずつ円筒のような小部屋があり、円筒内部も展示スペースとなっている。筆者が行った時は「日本の子ども文学」国際

は入れなかった場所でもある。興味のある人は内装にも注目してみたい。最後のおはなしのへやは土日に行われる「子ども」のためのおはなし会に使用される部屋で、普段は入ることができない。その他には、序盤で紹介した食券式のカフェテリアと事務室があるのみだ。

### 国立科学博物館編



国立科学博物館日本館正面

急ぎ足で上野公園内に戻り、国立科学博物館へ向かう。普段筑波時間(知らない人は先輩に訊いてみよう)に慣れている身からすると、五時閉館というのはなかなか辛いものがある。ちなみに、金曜日は八時閉館らしい。国立科学博物館(以下科博)は、筑波実験植物園

の母体でもあるから、名前だけは頻繁に耳にしているかもしれない。勿論科博もキャンパスメンバーズで無料であるし、筑波の実験植物園の方も無料である。どうでもいい情報であるが、科博は写真の正面入口からは入れない。横に地下への階段があり、そこからチケット売り場や入口に入っていくのである。東博は正面から入れるのに……などと呟きながら地下へ下りる。もう一つ注意すべきことがあるとすれば、チケットは券売機で買わずに、キャンパスメンバーズ専用の窓口へ行かなければならない。科博は入口から震だらけである。

## 地球館と謎の骨格標本

まずは地球館の紹介から。中を回った印象では地球館はあまりにも大きい。地下三階から地上三階までの六階分が展示フロアであり、全て巡るのはなかなかの重労働である。特に地下三階の化学・物理分野の展示は、密度が高いため、いつも流して見る部分と、じっくり見る部分に分けている。筆者が毎回必ず見るのは、実物で作られた周期表だ。化学を深く学習していなくてもなんとなくで楽しめる。化学・物理は理論で見るの

ではなく、応用されている部分を見たい、という方には地上二階のたんけん広場をおすすめしたい。動物の剥製を大量に見ることができるとは、地上三階だ。一つのフロアをフルに使った展示はある意味、壮観とも言える。筑波実験植物園へ行ったことがあり、「生物多様性」の話が気になった人は地上二階へ。恐竜が好きなら、問答無用で地下一階へ。ただし、フタババススキリユウの展示は日本館なので注意が必要だ。恐竜よりも地球生命史に興味があれば、地下二階へ。このように、目的別に回ってもいいし、全体をなんとなくぶらぶらしてもいい。



どう見ても怪しい体勢にしか見えないのだが……

地球館の見どころとして、どこかに存在する不思議な体勢をした骨格標本を挙げておこう(写真参照)。写真を見て笑った人は、何故その体勢なのかを確かめに行ってみて欲しい。理由は写真の外の説明書きに書かれている。また、地味な見どころではあるのだが、エスカレーターが半透明になっていて、機構が見えるようになっていて、部分も面白い。普段、エスカレーターはどう動いているかなど気にしたこともない筆者は科博に行く度にぼんやりと見ている。今回は足を踏み入れなかったが、近づくとも赤外線センサーで開くバルソルのあるバルソルガーデンや約百六十種類のハーブが栽培されているハーブガーデンが屋上にあるらしい。

## 日本館と飛行機

地球館を一通り見終わったら、次は地下を通って日本館へ移動する。日本館の展示フロアは地上三階分、地球館と比べるといくらか物足りない感じもするかもしれない。しかし、地球館全てを見て、疲れ切った頭で行くと、案外適切な規模にも見えたりする。日本館は案内掲示やパンフレットで平面図を見ると分かりやすいのだが、建物が多少変わった形をしている。これは、日本館が建てられた当時(昭和五年)の最新技術である、飛行機の形を表しているためだ。このため、案内図では「北翼」「南翼」という表現が使われている。ちなみに尾翼部分は、研究棟にあたる。勿論、一般人は立ち入れない。

日本館は階ではなく、部屋(翼)単位で展示が行われている。二階、三階は地球館の日本版として比較するとなかなか面白いかもしれない。目的別にすると、化石が見たい時は三階北翼、地学的に日本の歴史を見たい場合は三階南翼、日本人の形成過程は二階北翼、人間を除いた日本の生物の生命史は二階南翼といったところか。地球館に比べて狭いので、あまり疲れることなく見ることが出来る。筆者のお気に入りは一階南翼の「自然を見る技」の展示室。天文用具、時計、地震計、顕微鏡の歴史をそれぞれ見ることが出来る。コラム展示という小展示も展示室内に点在しているため、本体の展示にそれほど興味が無い人も安心して見ることが出来る。また、日本館には三百六十度全方位に映像が映し出される「シアター三六〇」というものもあるぞうだ。

## まとめ

さて、今回の旅はいかがだっただろうか。筆者は三か所を同日に回ったため、かなり疲れてしまった。実際は一日に二か所から二か所が限界だろう。とにかく見るものはいくらでもあるので、計画を立てて行っても無計画にぶらぶらしても全く問題ないと思われ。

交通手段については言及していなかったが、上野に限っては行きに限って良い手段がある。平日と土曜日のみ、つくばセンター発東京駅行きの高速バスが上野駅と浅草駅に止まる。これを利用すると電車より少しだけ安く行くことが可能だ。ただし、時間は電車の倍くらいかかる。筆者も高速バスで行った。高速バスは帰りは東京駅からなので、秋葉原から電車で帰るか、東京駅まで行つてつくばセンター行きのバスに乗る

しかない。この辺りは時間と費用の兼ね合いで判断していただきたい。

また、今回の旅の目的から外れてしまいが、お土産も勿論豊富である。特に東博はオリジナルグッズが大量にあつて値段にも幅があるので、お土産に困ったら東博と覚えておくとう便利だろう。

イベントについて少しだけ言及しておく。今年度は運の悪いことに、東博が百四十周年で、イベントを一年を通して行つていく予定らしい。いつ行つても何らかの催しは行われているが、狙った催しに行くためには、やはり下調べが必要になるだろう。科博は公式ホームページのトップから辿れるイベントカレンダーを活用すると便利だ。そして、今回は行かなかったが、上野公園内の国立西洋美術館もキャンパスメンバーズ制度が活用できる。紹介した三か所に行つたことのある人はこちらを利用してほしい。上野以外にもキャンパスメンバーズ制度が活用できる施設はある。しかも、東京だけに限らない。今回の旅は上野にキャンパスメンバーズ制度を活用できる施設が密集していたため、上野公園周辺になつたが、上野にこだわらず、キャンパスメンバーズ制度を大いに活用して欲しい。これらの施設にただで入れるのは、人生でも大学時代だけなのだから。



科博出口に何故かいるクジラ

## 参考ページ

○東京国立博物館  
<http://www.tnm.jp/>

○国立国会図書館国際子ども図書館  
<http://www.kodomo.go.jp/>

○国立科学博物館  
<http://www.kahaku.go.jp/>

の授業の教室に急がなければならないにもかかわらず、道が塞がってしまっている(実話)なんてこともあります。防犯のために2重ロックや記名をしっかりとる、適当な場所ではなく所定の駐輪場へとめるなど徹底しましょう。

最後に、自転車を手に入れたら是非行ってみたい場所を以下に挙げたいと思います。

イーアスつくば(ショッピングモール):つくば最大級のショッピングセンター。この辺では一番遊ぶのに困らない。

筑波実験植物園:国立科学博物館が植物の研究を推進するために設置した機関。四季折々の植物に触れられ、中には絶滅危惧種も。筑波大生は無料で利用できる。

産業総合技術研究所:環境・エネルギー、ライフサイエンス、情報通信・エレクトロニクスなどを扱う研究機関。一般公開・特別公開は必見。

KEK(高エネルギー加速器研究機構):加速器と呼ばれる装置を使って基礎科学を推進する研究所。「加速器」というものを間近で見ることができる貴重な場所。

JAXA(つくば宇宙センター):宇宙航空分野の基礎研究から開発・利用など行っている機関。施設の一部を見学コースとして紹介しており、お土産コーナーなんかも充実。

賢く使って、皆さんのキャンパスライフをぐんと楽しいものにして下さい。

対して、筑波では珍しい自転車持たない生活4年目のKさん(仮名)は……

どうも、自転車を持っていない、筑波では天然記念物一步手前の人間です。こちらでは、自転車を持たずに4年間を生き抜くための諸々を書いてみようかなと思います。先に言っておきますが、自転車はあった方がいいです。あるに越したことはありません。電車使って宅通している人でも、不便を感じて、長期で借りられる駐輪場を活用して、自転車は筑波に置いておいてみたいなので。それでも私は奇跡的に自転車無し生活を続けているので、自転車がなくて苦労する点と自分がどう対処してきたかについてまとめてみます。自転車が壊れて一時的に使えない時なんかにもでも参考にしてみてください。

まず、自転車が無い人間は本学との移動をバスに頼らねばなりません。しかし、バスはいつでも時間通りに来るとは限りません。筑波大学の休み時間は基本的に15分。本学-春日間の移動がある時は、昼休みが挟まれるように組まれてはいるのですが、それでも移動は辛い。万能な解決方法はありません。ただ、それでも単位はとっているの、どう過ごしていたかを紹介しておきます。1年次で最も移動が厳しい体育を例にとると以下の通りです。

- ・着替えをしないようにして、ジャージのままバス停に駆け込む。
- ・昼食は何処でも食べられるものを買っておく、作っておく。
- ・昼食は春日にバス到着後、春日の教室で食べるようにする。
- ・時間内に食べそびれたら、次の休み時間に持ち越し。

バスが遅れた時は、手の打ちようがないので、普段から講義にちゃんと出ておくようにしておきましょうね。尚、2年から先は多少時間割に自由度が出てきます。これを利用して、本学の講義をとる時には昼休みを挟んだり、間に1時間空白の時間を入れる等の工夫も可能です。私は実際、それで芸専の講義を1つとっていたので。ただし、教職科目をとっている人は不可能ではないかと思えます。

# Open Note

## 大学生活の必需品？自転車について

このコーナーは、「隣の学類生は何をする人ぞ」をテーマに学類生からの文章を紹介するコーナーです。今回のテーマは「自転車」まず、筑波のごく一般的な学生で、自転車持ちのSさん(仮名)の文章から見てみましょう

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。そしてようこそ筑波大学知識情報・図書館学類へ！さて、今回は新入生の必需品で一筆とのことですが、筑波大生の必需品と言ったらズバリ、自転車でしょう。

筑波大学はご覧のとおり、日本でも有数のキャンパス面積を誇ります。基本的には、学類ごとにかたまった場所で教室移動して授業を受けますが、知識1年生のカリキュラムでは、

月曜日

スタート:宿舎・マンションまたはつくば駅

1限:必修の総合科目のために大学へ

2限:同じく総合科目のために教室移動

~昼休み40分~

3限:必修科目の第2外国語のために教室移動

4限:必修科目の英語のために教室移動

5限, 6限:特に何も無いが自由科目なんかを入れることができる

放課後:サークルまたは帰宅のためにまた移動

なんてスケジュールになります。

授業の合間の休み時間は15分になりますが、ここで絶望すべきは、選ぶ科目や英語のクラス分けによっては教室移動に休み時間はすべて持っていかれる可能性がある、ということです。

入学時にもらうキャンパスマップを見てみましょう。例えば、1限が体芸エリア、2限が3学エリアとなると移動は自転車で優に5分かかります。加えて、月曜日の1・2限は全学群の1年生総勢数千人が総合科目のために移動するので、大っ変混みます。その様子は「エクストリーム教室移動」などと揶揄されるほど、歩きではとても間に合いません…。

このような大幅な移動を強いられる日が最低でも週3日、知識の場合は春日キャンパスで授業を受けた後、お昼休みもそこそこに数km先の体育館へ急がねばならないなんて時もあります。

「あれ、でも筑波大って学内をバスが回ってるんじゃないか」「じゃあ自転車なくても平気か」

そう、筑波大はその広いキャンパス内をバスが巡るという非常に稀有な大学なんです。正直な話あんまり時刻表通りに来ない(げふんげふん、のでやはり自転車での移動をお勧めします。サークルでごはんに行くときなんかちょっと遠出できますし、夜遅い時間にはバスが無い場合もありますしね。

こんな風に自転車に対するステマを繰り広げてきたわけなんです。使う人が多いからか、駐輪場の所定の位置に止めない、自転車泥棒、乱暴運転などなどマナーが悪い人も出てきています。このような人たちによって、3学エリアから徒歩で宿舎に戻らなければならなかったり(実話)、次

# 知識生情報

テーマ

## 知識情報・図書館学類に入って

### 良かったこと・悪かったこと

このコーナーではアンケートに寄せられたみなさんの意見を紹介していきます！第一号のアンケートは最初にもかかわらず3枚届いておりました。ありがとうございます！

第一回目のテーマは知識に入って良かったこと・悪かったこと、ということで新入生には気になる内容だと思います。在学生の方も改めてこの学類について考えるきっかけになるかもしれません。

#### 良かったところ

##### 様々な学問領域を学べる

図書館の勉強ができる、図書館業界について知れる

文系、理系、本好き、PC好き...と色々な学生がいる

#### 悪かったところ

##### 図書館派・システム派・その他の間に壁がある

本学が遠い

広いが浅すぎる

進路選択の幅が広いのに公務員・図書館員・院進学以外のフォローが少なめ

知識学類の大きな特徴といえば、やはり図書館についてだけでなく哲学から経営学・数学、さらにはプログラミングまで非常に幅広い分野を学べる点ですね。そして文系の人でも理系の人でも、色々な得意分野を持った人が集まっているのもこの学類ならではの点です。その特徴が良いところにも悪いところにも現れているのがよくわかる結果となりました。どの意見も在学生の方にはうんうんと頷けるものだと思います。本学が遠いというのは立地的な問題なのでどうしようもないですが、せっかく色々な分野の人が集まっているのに壁が出来てしまっているのはなんとか改善したいものですね。

次回

## 筑波大学に入って驚いたこと、思ったこと！

筑波大学に入って、入る前との印象の違いにびっくりしたことはありませんか？  
こんなすごいものがあつたんだ！とか意外にこんな感じだったのか〜など、気軽に考えてみてください！

私は教職をとっていませんが、とっている友人から聞いた話では自転車持ちでも移動が辛そうだったので。教職とる人は、素直に自転車に乗った方がいいでしょう。3年から先は主専攻によります。ここから先はそれぞれの主専攻の先輩に訊いてみるといいでしょう。

次に、サークルその他の食事会や飲み会等はかなり制限がかかる点。少し遠い場所で開催、となるとすぐに行けなくなります。バスに乗って行ける場所だったりすれば、主催者につけあつて、現地集合・現地解散ということにして行ってしまうのですが。大きいパフェで有名な某所とかはもう、歯が立ちませんね(笑)あと、バスの時間があるので、1次会で帰らねばなりません。お酒好きな人には酷かもしれませんね。私はあまりお酒好きではないので上手く生き延びています。逆に、あまり長居したくない方なんかにはおすすめです。

最後に、土浦、筑波山等の中距離の遠出が面倒になる点。私はどちらも諦めてバスで行ってます。遠距離は自転車だと躊躇いがちな場所までバス等で行けるので、逆にフットワークがよくなります。問題は研究学園駅のショッピングセンターぐらいの場所でしょうか。普段の私は、同行者がいないので歩いて行ってしまう。自転車無しの生活を送るための適性があるのだとしたら、長時間歩き続けることに慣れている人、っていうのがあるかもしれません。私は体力がありませんが、一度、春日キャンパスから南側のララガーデンまで行き、春日キャンパスに帰ってきて、その足で研究学園駅まで歩いて行ったことがあります(笑)

まとまらない文章ですが、無理矢理まとめると、のんびり屋で歩くのが苦でない、教職とらない人は自転車生活ができるってことですかね。人によっては苦行なので、無理だと感じたら早めに自転車を手に入れることをおすすめします。それでは、よいキャンパスライフを！

さて、自転車の回はいかがでしたでしょうか。筆者自身、編集過程でSさんのノートには頷くところが多く、Kさんのノートは、自転車を持っていない人はこんな生活をしているのかと改めて驚いたりもしました。何年いても、隣の人の生態には新しい発見が多いのがこの学類の面白いところでもあります。

open note 次回のテーマは……未定です

本誌付属のアンケート用紙自由記入欄に「学類生にこんなことを訊いてみたい！」ということを書いて、お手数ですが、アンケートBOXまでよろしくお願いします。

知識情報・図書館学類誌

# Milk

## 編集員募集中！！

雑誌作りに興味がある方、  
デザインをやってみたい方、  
文を書くのが好きな方…

ぜひ一緒に MILK を作ってみませんか？



毎週火曜昼休みに掲示板裏フリースペースでMTをしています。  
どうぞ気軽に見に来てください！

質問などはこちらへどうぞ↓  
klis.milk@gmail.com

発行者 知識情報・図書館学類

編集長 神永亜季

編集 堀内雅人  
伊藤小穂  
北原美穂  
下城薫理  
高畑菜

協力 松林麻実子 先生 (図書館情報メディア研究科)  
池田彩佳さん  
アンケートに協力して下さった皆さん  
寄稿して下さった皆さん

Credit

知識情報・図書館学類学類誌 MILK Vol.2

2012年4月1日発行

### c r o s s w o r d

#### 解答編

1	ジ	2	レ	ン	5	マ		8	ア	9	カ		10	カ	ミ	
3	ヨ	ン			7	ツ	イ	ン	テ	ー	ル					
4	ウ	メ			カ			11	コ	イ			24	テ	25	ラ
6	ホ	イ	12	コ	ー	ロ	ー					23	ウ	ツ	ツ	
	ウ		13	ク	サ			22	ル	32	イ			26	ト	キ
			14	ソ	テ	ー			21	ワ	ル	ツ				ヨ
15	ス	ー	ツ				20	ミ	ツ	カ				27	タ	ウ
16	リ	プ			19	カ	ノ	ト				28	シ	ケ		
	コ			18	ト	リ				29	ミ	ツ	シ		30	ツ
17	ミ	ケ	ラ	ン	ジ	エ	ロ						31	マ	キ	



知識情報・図書館学類 学類誌 Milk 第2号